

沼田町化石館だより

2022年5月26日 125号
この化石館だよりのカラー版は、化石館のホームページと、沼田町教育委員会のブログからご覧いただけます。

シン・ヌマタネズミイルカ 大公開

ゴールデンウィークも終盤の5月7日（土）、ほろしん温泉ほたる館のクリスタルホールにて「ヌマタネズミイルカシンポジウム」を実施いたしました。本イベントは、2019年より制作していたヌマタネズミイルカの新たな復元骨格のお披露目を目的として、ヌマタネズミイルカをより深く知るために沼田の化石について5名の講師より講演をいただきました。

イベントでは道内各地からご来場くださった74名の方々に見守られながらヌマタネズミイルカの「令和復元」とそれに基づいて制作された生態復元画が約3年の時を経て姿を現しました。シンポジウムの様子は、田中特別学芸員による好評をご覧ください。

※本イベントで披露した新たな復元骨格は、化石体験館にて展示しています。



ヌマタネズミイルカとともに

「ヌマタネズミイルカ」にちなんだ講演を行った演者たち。左から沼田町化石館学芸員の長野、特別学芸員の田中氏、名誉館長の木村氏、福井県立恐竜博物館の一島氏、足寄動物化石博物館の新村氏。



←「令和復元」を解説する復元骨格制作総監修者の一島氏、講演後は体験館にてワンポイント展示解説をしてくださいました。

↑今回新たに公開した「令和復元」とこれまで展示されていた「昭和復元」

化「石」から、生き物らしく、なってきた ヌマタネズミイルカの復元記念講演会



田中嘉寛（沼田町化石館 特別学芸員）

会場では、札幌からの化石ファンや、町長や理事者の方々、町役場の方々、熱心にきいていらして、ちょっと緊張しました。3年まえ、ヌマタナガスクジラが新種としてデビューしたとき、ゆめつくるで説明会をしました。それ以来、移動が大きく制限されていたので、じつに3年ぶりの沼田町訪問ということで、お懐かしい方々にお目にかかりました。

講演会では、新しい骨格復元を担当された一島先生、新村先生のお話をきいて、細かく調べて、考えて復元されたな、と感心しました。化石は「石」ですが、細かく調べ、考えていくと、生き物としてとらえることができるようになってきます。やはり研究は大事だな、と感じました。

私はヌマタネズミイルカだけでなく、それ以外の沼田にすんでいた化石について話してほしいということで、クジラを中心にお話しました。沼田町には2つの新種がこれまでおり「ヌマタネズミイルカ」だけでなく「ヌマタナガスクジラ」もイイ、というお話をしました。何がイイかというと、世界に一つしかない新種の基準になる化石（タイプ標本といいます）が、沼田には2つもあるのがイイのです。2つもあるところは珍しいです。イルカだけでなく、クジラでも新種がいるので、コンテンツとして沼田の化石は強いな、と改めて感じました。

この講演会を企画運営された長野学芸員、松井学芸員、教育委員会の方々、よい機会をいただきありがとうございました。

6月の閉館日：6（月）13（月）20（月）27（月）

営業時間 9：30～16：00（最終入場：15：30）

沼田町化石館だより 2022年5月号 第125号
発行 / 沼田町化石館 編集 / 長野あかね
〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条4丁目
電話 / FAX 0164-35-2132 / 0164-35-1210
メールアドレス kyoiku@town.numata.lg.jp（教育委員会）
ホームページ <http://numata-kaseki.sakura.ne.jp/index.shtml>



（体験館 HP）



（公式 Facebook）

化石館便りは毎月第4木曜日発行。次回は6月26日です。

夏待つ、幌新太刀別川

ー 新発見を待つ「時を流れる川」のいまー

5月某日、雪解け水で水かさを増した幌新太刀別川からようやくタカハシホタテが顔を出しました。冬の間に浸食された河床には川の水で運ばれた化石貝類の一部が無数に転がり、崖からはたくさんのタカハシホタテが「発掘を待っています！」と言わんばかりに姿をのぞかせていました。去年は貝の化石だけでなく、2つの脊椎動物の骨の化石も発見されました。そのうちひとつは化石採取会の最中に参加者の目の前で見つかりました。さて、今年はどのような新発見に出会えるのでしょうか？幌新太刀別川の夏はもうそこまで来ています。

令和4年度、化石採取会のお知らせ

- 実施日：6月26日（日）、7月9日（土）、7月24日（日）
- 募集人数：各回15名
- 対象：小学生以上
- 募集期間：5月30日（月）午前10時～
6月6日（月）午後5時
- 募集方法：今年度より先着方式から抽選方式に変更いたします
- 抽選方法：①化石体験館ホームページの抽選申込フォームに必要事項を記載のうえ送信
②申込用紙に必要事項を記載のうえ、化石体験館にFAX送信
③申込用紙を体験館に直接持参
※いずれの申込方法でも当選確率は変わりません

